

うさみ  
宇佐美エリア

うさみ  
海と山の自然と史跡が調和する街 宇佐美



①海水浴場の賑わいと  
それを取り巻く産業・商業



②自然と文化を同時に楽しめる  
ハイキングコース



③随所に見られる歴史・文化の史跡

所在地	伊東市宇佐美
施設	宇佐美駅、宇佐美コミュニティセンター、宇佐美海水浴場、宇佐美港 ほか
アクセス	JR伊東線宇佐美駅、国道135号線

## 地形

静岡県伊東市北部に位置する。東で相模灘に面し、南で湯川、西で伊豆の国市長者原、伊豆市上白岩、下白岩、冷川と隣接する。

## 歴史

平安時代から鎌倉時代にかけて、宇佐美氏が本貫とした。

明治初年時点で葦山代官所および旗本向井氏・水野氏・小笠原氏が管轄したほか、寺社除地が存在した。1868年(慶応4年)新政府が葦山代官所に設置された葦山県の管轄となる。1955年(昭和30年)宇佐美村が伊東市に編入され、現在の大字宇佐美となる。

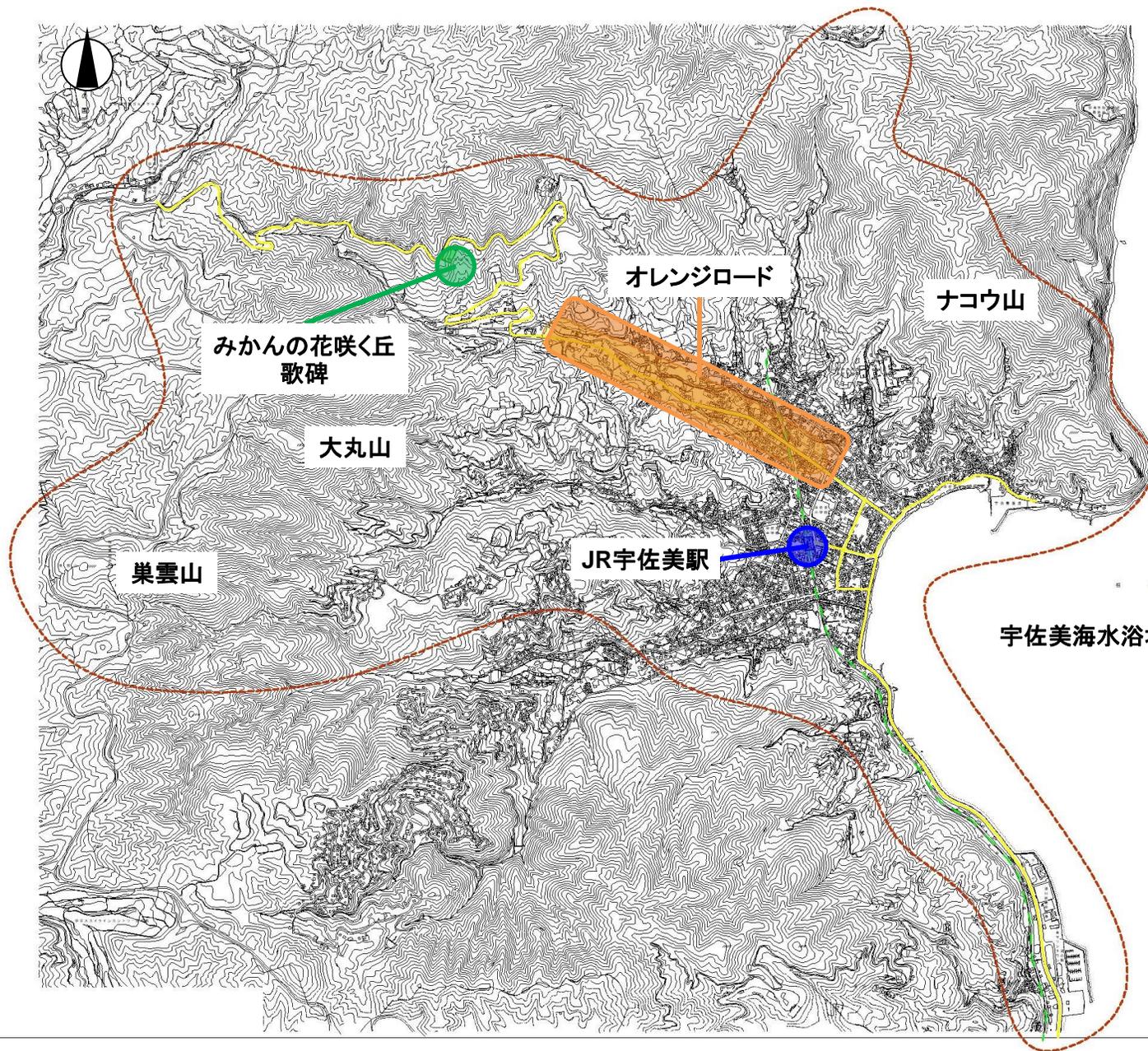
## 観光

正面を海、背を山に囲まれ、天然海岸・伊豆の豊かな温泉、新鮮な魚介料理、みかんの里など、伊豆の良いところが凝縮され、いっぺんに楽しむことができる。

2. 対象エリアの位置図



2. 対象エリアの位置図



# 宇佐美エリア

-  対象エリア
-  鉄道 JR・伊豆急行
-  主要幹線道路

## ① 海水浴場の賑わいとそれを取り巻く産業・商業

### (1) 海岸・砂浜・磯辺



宇佐美海岸は、夏には多くの海水浴客で賑わいます。海岸沿いは歩道が整備され、ジョギングやウォーキングが楽しめます。一方、トイレや更衣室、駐車場などの施設は、エリア内には数えるほどしか整備されていません。広がる海の景色は市の主要な景観であり、観光施設として活用するための有効な施設整備が必要です。

### (2) 宇佐美漁港



宇佐美地区は古くから漁業が盛んな町です。週末には、宇佐美海上での船釣りや浜辺、堤防、磯場などで多種多様な釣りを多くの家族連れが楽しんでいます。

宇佐美地区内には、市場や道の駅に類する直売所は存在しないため、買い物等を目的とした観光客への訴求力の弱さが課題です。

### (3) 商店街



都市計画道路によって駅・商店街周辺の車両・歩行者共に交通の快適性と安全性が増しましたが、駅前商店街のかつての賑わいの創出と街路灯の老朽化、防犯面の向上等が課題となっています。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・特産品の直売所の不足
- ・海水浴場の付帯施設、駐車場の不足
- ・駅周辺を管理するJRとの連携不足
- ・中央区テニスコート跡地の未利用
- ・津波被害想定に対する各施設の海拔の低さ
- ・シャッター街、空家の増加
- ・街路灯の不足

## ② 自然と文化を同時に楽しめるハイキングコース

### (1) オレンジロード



伊東市と伊豆の国市を結ぶ県道19号主要地方道伊東大仁線の両脇には、複数のみかん農園が並び「オレンジロード」とも呼ばれています。みかんの収穫時期には、みかん狩りをしながら宇佐美の景観を楽しむことができます。

### (2) ハイキングコース



宇佐美地区に宇佐美駅をスタートとする「巢雲山コース」や「みかんの花咲く丘コース」、「石切り場コース」など、さまざまなハイキングコースがあります。

ハイキングコースの中には、かつて石切場の石を運んだ御石ヶ沢隧道や旧東海道から下田までの重要な街道であった東浦路なども含まれるため、歴史文化と四季折々の景色を同時に楽しみながら散策することができます。

宇佐美地区は、海水浴と登山を同時に楽しむこともできます。

▲観光パンフレット「ゆったり湯めまちウォーク」より

#### 〈ハイキング&ウォーキングコース〉

石切り場(ナコウ山・洞入・離山・白波台)コース  
 旧街道コース 滝コース 鎮守の森コース  
 みかんの花咲く丘(峰・阿原田)コース  
 巢雲山(峰・阿原田)コース

計11コース

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・ハイキングコースがわかりにくい
- ・展望台施設の老朽化
- ・各山頂のトイレ、表示等の不足
- ・沿道の表示のデザインや色彩などが、不揃いで統一されていない

### ③ 随所に見られる歴史・文化の史跡

#### (1) みかんの花咲く丘 歌碑



みかんの花咲く丘は、終戦直後の昭和21年8月24日に作詞家・加藤省吾によって作詞され、作曲家・海沼實ができたての歌詞を手にして伊東行きの列車に乗車。列車の中で作曲を行ない、国府津駅付近でやっと前奏が浮かび、宇佐美駅付近で曲が完成したといわれています。

8月25日のラジオ放送(日本で初のラジオ二元放送)で、当時12歳ながら人気の童謡歌手だった川田正子が『みかんの花咲く丘』を歌い、後にレコード化しています。

歌碑は、加藤氏・海沼氏の自筆の歌詞と楽譜を天城産の安山岩に刻んだもので、昭和58年11月1日に除幕式が行なわれていますが、駐車場が狭く、海が見渡せないのが課題です。

#### (2) 史跡



江戸時代には、江戸城改築のため伊豆半島東海岸から大量の石が江戸に運ばれ、宇佐美の山中には石を切り出した跡が殆ど手付かずのまま残されており、中には、大名の名や年号が読み取れる大石、家臣或いは石工の印と推定される様々な紋が刻まれた石(刻印石)が数多く残っています。

山頂近くにある羽柴越中守石場と刻まれた大石の場所では、宇佐美市街、遠く天城連山の眺望が楽しめます。史跡については、保存・維持が課題です。



#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・みかんの花咲く丘生誕の地としてのPR
- ・みかんの花咲く丘歌碑駐車場の不足
- ・史跡の保存、維持

# 海と山の自然と史跡が調和する街 宇佐美

## 地域住民の視点

- 「みかんの花咲く丘」童謡のルーツや歌碑の眺望の活用
- 快適に利用できる海水浴場づくり
- 豊富なハイキングコースや道中の史跡の活用
- 津波から避難しやすいまちづくり

## 有識者の視点

- テトラポットがない良好な景観の海岸線の活用
- 商店街などに、若い世代のアート、商品など新しい感性を取り入れる
- 景観と防災の両立
- 地域で採れる海産品やみかんの活用
- 宇佐美駅前のイメージ向上

地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

## 海と山の自然と史跡が調和する街

### 目標1 活気と潤いのある生活景観



### 目標2 宇佐美の歴史・文化の継承



### 目標3 産業に支えられる景観



### 目標4 安全・安心の景観



目標1 活気と潤いのある生活景観

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ハイキングコースの整備（案内看板や道標・階段の設置・補修、歩道の補修、草刈）</li> <li>②観光の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市、市民</li> <li>●市</li> </ul>
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>③巢雲山山頂施設の整備（展望台の補修、案内看板の設置・補修、トイレの設置）</li> <li>④宇佐美駅前ロータリーと公園の整備（看板の設置、ロータリーと公園の一体的な改修）</li> <li>⑤明るいイメージの商店街づくり（シャッターアート・空き店舗の活用）</li> <li>⑥大丸山展望台のおもてなし空間の整備（案内看板の設置）</li> <li>⑦大丸山山頂施設の整備（展望台・トイレの新設）</li> <li>⑧国道135号線沿いのヤシの並木の保全（老朽化したヤシの植替え）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県、市</li> <li>●市</li> <li>●市民</li> <li>●市、市民</li> <li>●市</li> <li>●市</li> </ul>

## 目標2 宇佐美の歴史・文化の継承

	取組み	実施主体
短期	⑨史跡の保存・継承（樹木の剪定・清掃、看板の補修） ⑩宇佐美夏まつり花火大会の継承 ⑪サーフィンなど、ウォータースポーツのPR	●市、市民 ●市、市民 ●市、市民
中・長期	⑫石切場史跡の保存・継承（石碑の保存・継承、案内看板の補修） ⑬“みかんの花咲く丘”歌碑の移設（駐車場、トイレの新設） ⑭“みかんの花咲く丘”が流れるメロディロードの設置（上り、下り）	●市、市民 ●県、市 ●県、市

目標3 産業に支えられる景観

	取組み	実施主体
短期	⑮産業の情報発信 ⑯宇佐美港での定期市の実施（特産品の販売等）	●県、市、市民 ●事業者
中・長期	⑰特産品、スイーツの開発（みかん、しらすなど） ⑱訪れた人が快適に過ごせる宇佐美海水浴場の整備（トイレ・休憩所・カフェ・ビュースポットの新設、護岸の清掃） ⑲オレンジロード沿道の整備（色彩・看板の統一、オープンカフェ的滞留空間の新設等） ⑳砂浜の浸食対策の研究	●市、事業者 ●市  ●市、県  ●市

## 目標4 安全・安心の景観

	取組み	実施主体
短期	①商店街や観光施設などへの防犯カメラの設置（亀石・留田ポケットパーク、宇佐美コミュニティセンター、駅前商店街、宇佐美駅など） ②安心・安全な商店街づくり（街路灯の整備）	●市、市民  ●市
中・長期	③宇佐美コミュニティセンター周辺の防災施設整備（避難タワーの設置等） ④留田ポケットパークの整備（駐車場の補修、トイレの改修） ⑤亀石ポケットパークの整備（駐車場の補修） ⑥初津地区津波避難ルートの整備（避難階段の設置等） ⑦海岸遊歩道への街灯や、フットライトの整備	●市、事業者、市民 ●市、県 ●市、県 ●市 ●県

## 計画の推進

計画を推進するにあたり、必要となる取組みを以下に示します。

	取組み	内容	実施主体
1	補助金の有効活用	県による観光地域づくり整備事業費補助金に限らず、国の補助金などと併せて、適切に予算を確保する。 また、観光施設や地域の催し等に対し、活用できる補助金などの整備や利用にあたっての案内などの体制を整える。	市、県
2	エリア内の自治会や観光協会との連携	主要な地域の自治会や宿泊施設、観光施設の関係者間で観光施設や催し等の観光情報を共有し、効果的な活用を図る。	市、事業者、市民
3	計画の見える化	市ホームページで当該計画を公表し、市民に周知する。また、進捗状況についても公表していく。	市

# 7. 景観施策(案)のイメージ図

## 宇佐美エリア

